

2023年10月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第226号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第3回セミナーの開催について

【開催日時】2023年10月19日（木）12:30-17:00

【開催場所】ウインクあいち 1201号室（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】会場参加及びオンライン（Zoom Webinar）参加のハイブリッド開催

【テーマ】「東海地域における有機農業の推進」

講演タイトルと講演時間割

挨拶 12:30-12:40 NPO 東海生研理事長

講演1：12:40-13:30 「有機農業を推進する行政的な施策について」

講師：東海農政局 浅野 昌江 様

講演2：13:30-14:20 「東海地域における有機農業の現状と課題」

講師：オアシス21 オーガニックファーマーズ朝市村 村長 吉野 隆子 様

休憩：14:20-14:30

講演3：東海地域の市町が取り組むオーガニックビレッジ

講演3-1：14:30-15:10 「愛知県東郷町の東郷オーガニックビジョン」

講師：東郷町 町長 井俣 憲治 様

講演3-2：15:10-15:50 「三重県尾鷲市におけるオーガニックビレッジへの取り組み」

講師：尾鷲市 水産農林課 農林振興係主査 田部井 智也 様

講演3-3：15:50-16:30

「岐阜県白川町のオーガニックビレッジへの取り組みとオーガニック給食」

講師：NPO 法人ゆうきハートネット 理事 長谷川 泰幸 様

名刺交換会：16:30-16:50

【参加申込】参加費は無料。会場参加定員70名 オンライン参加定員300名

参加申込は、所属機関名、氏名、連絡先（メールアドレス）を

東海生研事務局 道村宛てにメールでお送り下さい。

メールアドレスは、bio-npo2*y4.dion.ne.jp（*を@に代えて下さい）

です。お申込み締切日は10月12日です。

複数人参加される場合は、人数をご連絡下さい。Zoom Webinar の URL は、

メールで事前に参加者（複数人参加の場合は代表の方）にお送り致します。

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の出展募集

【目的】東海地域における大学、企業、公設試験場、独立行政法人等の研究開発シーズや

成果を紹介する場を提供し、参加者の産学官マッチングによるビジネス創出を支援します。

【開催場所】 ウィンクあいち <https://www.winc-aichi.jp/>

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 名古屋駅(名鉄、近鉄、JR)から3分

【開催日時・プログラム】

会場展示 2023年12月7日(木) 8階 802-804

13:00—13:20 開会式

13:20—17:00 ・ブース展示、ポスター展示

出展方法、出展申込書は東海生研HPの「アグリビジネス創出フェア in 東海」をご覧ください。申込書をダウンロードし、メールでお申込みください。出展料は無料です。

メールの宛先: npo-tokai*ab.auone-net.jp *を@に変えてください。

技術相談(事前予約制)

ハイブリッド開催 2023年12月8日(金) 12階 1202

10:00—12:00 東海4県農業関係試験研究機関

愛知県農業総合試験場 三重県農業研究所 静岡県農林技術研究所
岐阜県農業技術センターの公開シンポジウム

13:00—14:30 東海生研主催の成果発表会

Web展示 2023年12月7日(木) — 2024年2月8日(水)

東海生研HPにて出展機関のデータ(映像、テキスト等)を公開します。

主催: 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO法人東海地域生物系先端技術研究会

共催: 東海4県農業関係試験研究機関

後援: 名古屋大学大学院生命農学研究科 農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

9月27日～10月12日まで 「食品ロス」

10月16日～10月30日まで 「植物防疫所の仕事 農業と緑を守るために」

11月1日～11月16日まで 「受け継がれる食文化～うち郷土料理～を食卓に」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyas/tokubetsu/index.html>

☆パネルディスカッション「Z世代からつなぐ、多様な食と農の未来」を開催します

東海農政局は、東海学院大学とタイアップし、「Z世代からつなぐ、多様な食と農の未来」をテーマにパネルディスカッションを開催します。

このイベントは、「Z世代から」をキーワードとし、東海学院大学の学生や東海農政局若手職員(Z世代)が農業関係者等と意見交換を行い、多様な食と農の未来のために何ができるかを議論しようという企画です。

日時：令和5年10月22日(日曜日)13時00分から15時30分

場所：東海学院大学東キャンパス図書館1階大ホール(岐阜県各務原市那加桐野町5-68)

パネルディスカッションの様子は、Webでの視聴も可能です。

詳細は下記をご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tokai/press/kikaku/231003.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等(オンライン開催があるもの)

☆「食関連分野オープンイノベーション・チャレンジピッチ」を開催します！

農林水産省、経済産業省関東経済産業局及び独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部(以下「中小機構」という。)は、食関連分野におけるオープンイノベーションを促進するため、昨年度に引き続き、10月27日(金曜日)に「食関連分野オープンイノベーション・チャレンジピッチ」を開催します。大手企業の持つニーズと、中小企業やスタートアップ等の持つシーズをマッチングさせて、オープンイノベーションによる農林水産業・食品産業の振興を目指します。

開催概要

日時：令和5年10月27日(金曜日)14時00分～16時30分

開催方法：オンライン(Microsoft Teams)

主催：農林水産省、経済産業省関東経済産業局

開催協力：独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部

対象：どなたでもご参加いただけます。(企業、自治体、支援機関、地域金融機関、研究機関等)

申込方法：以下URLよりお申し込みください。

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto01/food_oip_entry_r5

プログラム：

(ア)開会挨拶(農林水産省)

(イ)趣旨説明(関東経済産業局)

(ウ)大手企業のニーズ発信

(エ)国の施策紹介(農林水産省・関東経済産業局)

☆ムーンショット型研究開発制度

生研支援センターでは、科学技術振興機構(JST)が主催する「サイエンスアゴラ2023」において、ムーンショット目標5※の下に推進中の研究課題を出展します。

本出展は、「食と農」の抱える課題を理解し事業化構想を語り合うことを目的としています。新たな価値創造・産業創出を目指す起業・投資のチャンスです！起業家精神の高い皆はもとより、食料と環境に関心のある多数の御参加をお待ちしています。

※「ムーンショット型研究開発制度」は、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進する国の大型研究プログラムです。

その目標 5 では「90 億人がおいしく食べ続けられる社会」を合言葉に、生産性と持続性の両立、人と地球にやさしい食と栄養の供給を目指した挑戦的な研究開発を推進しています。研究だけで終わることのないよう、研究の成果が社会に定着した姿を明確にし、その実現に向けて起業や事業化開発を加速し、研究と事業の融合、ムーンショット・ビヨンドを進めようとしています。

日時：2023 年 10 月 27 日（金曜日）19:00～20:30

開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン

申込方法：事前登録はこちらから

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2023/online/index.html>

27A19 「食と農」のチャレンジングな研究開発、その先へ～Moonshot Beyond～をクリックしてください。

出展者：生物系特定産業技術研究支援センター ムーンショット目標 5

参加費：無料

定員：200 名程度

ムーンショット目標 5 についての詳細は以下より（生研支援センターウェブサイト）

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/moon_shot/index.html

.....

4. 2023 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆JST：「2023 年度 大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム」

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/su-ecosys/koubo2023.html>

分野等：大学等発スタートアップ（以下、「大学等発 SU」という）の創出にポテンシャルのあるシーズを全国から引き出し、国際市場への展開を含め、大学等発 SU の創出に向けた取組について質量ともに充実させるとともに、大学等発 SU の継続的な創出を支える人材・知・資金が循環するエコシステムを、参画機関を拡充しながら形成する活動を支援する。

公募期間：2023 年 8 月 29 日～10 月 26 日

☆独立行政法人環境再生保全機構：「令和 6 年度環境研究総合推進費」

https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r06_koubo_2.html

分野等：統合領域、気候変動領域、資源循環領域、自然共生領域、安全確保領域

公募期間：2023 年 9 月 13 日～10 月 17 日

☆NEDO：「2023 年度第 2 回新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（新エネ中小・スタートアップ支援制度）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100422.html

分野等：再生可能エネルギーや低炭素・脱炭素化技術の開発に取り組む中小企業等（スタートアップ企業を含む）によるイノベーションの創出に資する提案を公募し、研究開発や事業化計画の進捗状況等に応じて、5つのフェーズで研究開発に対して助成する。

公募期間：2023年9月6日～11月9日

☆上記以外の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆水産関係

○熊野灘沿岸の定置網における漁獲物組成の変化

漁獲量の変化は、地球規模の温暖化の影響等による海洋環境の変化が影響している可能性が考えられています。そこで、三重県沿岸での長期的な漁獲物組成の変化を明らかにすることを目的として、長期間継続して漁獲量のデータが得られている熊野灘沿岸の定置網漁場における過去 50 年間の漁獲物組成の変化を調べました。その結果、10 年単位の比較において、どの年代もブリが最優先種で、第 2 位は主要浮魚類の資源変動に伴って変化していました。かつて上位に位置していたウマヅラハギ・ウスバハギは著しく減少し、ヒラマサやタチウオも減少していました。

・三重県水産研究所 HP：水産研究所だより

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001086140.pdf>

☆獣害対策関係

○ワイヤーメッシュ柵下部に簡易かつ安価に設置可能な電気線支持具

ワイヤーメッシュ柵は、下部からの侵入対策が不十分だとイノシシが柵下部を押し上げ、そこから侵入される問題があります。その対策の一つに、柵の外側に電気柵を 1 段設置する技術がありますが、本開発資材を使用することで、一般的な電気柵資材と比べて、電気柵機能の追加にかかる設置所要時間を約 2 割、資材費を約 3 割削減できます。

・三重県農業研究所 HP：

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001037007.pdf>

.....

編集後記

今年の夏の気象の影響により農作物や水産物が被害を受けたということがニュース等で報道されています。文部科学省は、令和 5 年 6 月から 7 月上旬の大雨および令和 5 年 7 月下旬から 8 月上旬にかけての記録的な高温を対象として研究を実施した結果、地球温暖化の影響が大きく寄与していたことの検出に成功したという結果を発表しています。今後、地球温暖化が進行すると、このような異常気象が頻発する可能性が高くなると予想されま

す。食料の安定生産に向けての技術開発に期待したいところです。

さて、東海生研主催の第3回セミナーは10月19日に「東海地域における有機農業の推進」をテーマとして開催します。会場参加とオンライン参加のいずれも可能ですので、ふるってご参加ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>